

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	実施年月	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
1	R3.5～	その他	第一生命保険(株)	ととりの花応援プロジェクトと連携したととりの花回廊のPR	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた花農家や生花店を応援する目的で、営業職員が月に2回県内全域を対象に希望のあったお客様にお花をお届けする「ととりの花応援プロジェクト」を行っている。花に関連した応援の取組として、ととりの花回廊に関する情報についても、当該お届け時にパンフレット等を一緒に手渡す等によりPRすることができる。	「ととりの花応援プロジェクト」の取組にあわせて、ととりの花回廊のイベント PR チラシや花の種を一緒に配布することで、花き事業の振興とととりの花回廊の PR につながった。
2	R3.7	医療・福祉	第一生命保険(株)	がん対策講演会の開催に関する連携	新型コロナウイルスとがんについて、最新のエビデンスに基づきがん情報を身近な話題を盛り込んで分かりやすく説明する Web セミナーを開催するにあたり、県のがん対策の取組や受診率向上を呼びかけるメッセージ動画を流したい。	Web セミナーにあわせて、県のがん対策の取組や受診率向上に向けて、がん検診の受診を呼びかけるビデオメッセージを発信した。
3	R3.7	農業・農地	日本郵便(株)	のぼり旗等を活用した県の梨のPR	鳥取県の梨生産者を応援し、全国に県の梨をPRする目的で、県在住のイラストレーター2名と協力のうえ、のぼり旗やポスターを作成したので、連携して梨のPRに役立てたい。	のぼり旗やポスターを県外本部(東京本部・関西本部・名古屋代表部)で活用。
4	R3.8～	医療・福祉	N.K.C ナーシング コアコーポレーション(合)	SNS を利用したヤングケアラーの支援	令和3年度から鳥取県が県内3か所にヤングケアラーの相談窓口を設置したが、学業や就労により平日の日中に相談しにくいヤングケアラーが存在する。夜間や休日の時間帯に相談できるよう、県と連携して SNS 上に相談窓口を設置したい。	令和3年度に試験的にヤングケアラーLINE 相談窓口を設置。令和4年度は当該試験結果を踏まえ、24時間365日受け付けとするLINE 相談窓口を県予算により設置し、令和4年6月13日から対応を開始した。
5	R3.9～	その他	山陰スバル(株)	山陰スバル株式会社と星取県のコラボ企画	スバルの新たな安全安心システム「STARLINK(スターリンク)」という名称が、鳥取県が推進する星取県との繋がりを連想させることから、地域・社会への貢献として、星取県のPRを連携して行いたい。	スバル車両に星取県ラッピングを施したスターライトタクシーを、県内で催される星取県に関するイベント(星空観察会など)へ貸出・展示し、星取県のPRにつながった。
6	R3.11～	その他	第一生命保険(株)	第2回ととりのお国自慢サラ川(川柳)の実施	第一生命の「サラリーマン川柳コンクール」と鳥取県がコラボした取組として、鳥取県の特産品・観光・食・地域イベント等のPRにつながる川柳を募集する「ととりのお国自慢サラ川」を県と連携して開催したい。	鳥取県の特産品・観光・食・地域イベント等のPRにつながる入選作品の紹介を通じ、再発見された鳥取の魅力を県内外にPRし、鳥取を元気に盛り上げることに繋がった。また、入選作品については、ととりのお国自慢サラ川や県庁県民室でパネル展示を行い県のPRに活用した。
7	R4.2～	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング(株)	清潔・美・健康の分野における地域課題の解決等	民間事業者のノウハウを活かし、プラスチックごみ等の環境分野や手洗い等といった衛生・感染予防分野、スキンケアメイクといった美容・社会分野に関する取組を行い、鳥取県の課題解決を目指したい。	令和4年2月1日に倉吉北高校において「新社会人好印象の身だしなみセミナー」を、同年8月23日に米子コンベンションセンターにおいて「60歳からの身だしなみメイクセミナー」を開催した。
8	R4.3～	その他	(株)ジャパニーズディスプレイ	県の施設における「透明ディスプレイ」に関する実証実験	透明ディスプレイと言語(音声)を文字変換しディスプレイに表示させるアプリを使用し、きこえない・きこえにくい人との意思疎通を容易にさせる実証実験を県の施設で行いたい。	試験設置の結果、普段筆談等でやりとりしている人にとって、透明ディスプレイの会話は時間の短縮になり良かった等の肯定的な声が寄せられ効果が認められたため、令和4年度県予算により20台導入し、県内公共施設を中心に設置等を行った。
9	R4.3～	土地・施設利用(農地除く)	(株)妖怪企画	みなとさかい交流館2階展示ホールの民間事業者による有効活用	鉄道(JR 境線)と船(隠岐汽船)の玄関口に位置する「みなとさかい交流館2階展示ホール」について、民間事業者のノウハウ等を活かした事業展開や柔軟な対応を行うことにより、地域の賑わい創出を図りたい。	水木しげるロードと一体となった賑わい創出を図る取組を公募した結果、令和4年7月16日におけ屋敷や迷路、スタンブラリー、宝探しなどの要素を備える「鬼太郎妖怪倉庫第三章」がオープンした。
10	R4.6～	その他	(株)クラウドシエン	自治体と民間企業をつなぐプラットフォームに関する実証実験	自治体と民間企業の連携を推進するプラットフォームの構築に向けて、官民連携に関心の高い全国の民間事業者に向けて行政情報を発信するウェブサービス「ローカルハブ」を開始するので、当該サービスを活用した官民連携推進事業の実証実験を県と連携して行いたい。	令和4年度における実証実験において効果が認められたことから、「ローカルハブ」本導入に関する覚書を令和5年4月1日付で締結した。また、提案者との連携の一環として、令和5年5月に県庁職員向けセミナーを開催。民間事業者との協働連携を進める上でのポイントや事例紹介等について講演いただいた。
11	R4.7～	農業・農地	(株)読売新聞大阪本社、日本海テレビジョン放送(株)	農業に関わる人々を応援し、持続可能な未来を考える「農プロジェクト」と県との連携	農業分野に焦点をあてた多面的な編集記事や事業、企画などを展開し、農業に関わる人々の応援や持続可能な未来を考える「農プロジェクト」と、農業が盛んな鳥取県との連携により、農村と都市・地方と都市をつなぐ取組を進め、農業や地方の活性化を図りたい。	令和4年9月7日に農業・農村の振興に関するパートナーシップ協定を締結。また、パートナーシップ協定の締結に先立ち、県産品や観光情報のPR 協力として、同年7月に東京ドームで開催された巨人軍主催試合を県が「ととりのリーダー」として協賛した。協定締結後においては、都市と農村交流の促進の一環として12月に「ととりのジビエ体験ツアー」を実施し、令和5年1月には農山村からの都市への情報発信の取組として、「農山村を支える新たな力」をテーマとした全国配信のオンラインシンポジウムを開催した。
12	R4.9～	教育・文化	ソフトバンク(株)	全国高校生手話パフォーマンス甲子園に関する連携	全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げ、その表現力を競う「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の開催にあたり、県と連携を図りたい。	優勝校のコメントや手話に関する県の取組、手話を文字化するアプリの実証実験に関する記事を Web マガジンに掲載し、手話パフォーマンス甲子園のPR 等につながった。また、アプリの開発の一助となるよう今後も連携を継続していく。
13	R4.11	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング(株)	衛生、多様性、環境、健康分野を主とした社会課題解決に向けた取組に関する連携	衛生、多様性、環境、健康など幅広い分野で連携を強めていきたい。	令和4年11月19日に米子コンベンションセンターで開催した県主催の環境問題意識啓発イベント「ととりのエコフォーラム」において、子ども向け eco 活動啓発の企業ブースを出展した。
14	R5.2～	雇用・労働	第一生命保険(株)	「女性の就業意識アンケート」に関する連携	女性の就業意識に関するアンケートの実施に関して、県と連携を図りたい。	アンケート項目に県の意見を反映してもらい、県内在住の女性を対象としたアンケートを実施。アンケート結果は個人情報を除いて県に共有され、県施策の参考にしていく。
15	R5.3～	その他	(株)メルカリ、(株)ソウゾウ	企業の資源・ノウハウ等を活用した自治体との連携	県産品の流通・販売支援、教育の推進、災害時の支援など、自社のツール・ノウハウを活かして県と連携したい。	①メルカリ Shops 活用による県産品の流通・販売支援 令和5年3月8日に倉吉未来中心において、県産品の流通・販売支援として、かんたんにネットショップを開設できる「メルカリ Shops」の活用セミナーを県内事業者参加のもと開催した。 ②メルカリ Shops PBL プログラムの実施 令和5年6月から、境港総合技術高等学校3年生を対象に、(株)メルカリ Shops を活用してネットショップ上で販売実習を体験する「メルカリ Shops PBL プログラム」を開始。生徒たちは(株)メルカリ等の指導・助言を受けながら、商品への付加価値、売上を上げるためにはどのような工夫が必要か等について、主体的・対話的に課題解決型の学習(PBL)に取り組み、令和5年10月にはメルカリ Shops 上に同校と米子鬼太郎空港売店「BEE WING」のコラボショップを開設。同校の実習で製造した水産加工品と「BEE WING」の鳥取県産品を組み合わせたコラボセット商品を全国に向け販売開始。令和6年1月には、課題研究発表会(総括)を実施し、メルカリ社員も出席し、生徒たちにエールを送った。

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	実施年月	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
						<p>③メルカリ寄付 (株)メルカリが提供する「メルカリ寄付」を活用した鳥取県との連携を進めていきたいとの提案を受け、令和5年12月から「メルカリ寄付」を利用した一般寄付金の受付を開始。</p> <p>④「メルカリエコボックス」無償提供に関する市町村への情報提供 (株)メルカリが提供する「メルカリエコボックス」を活用した連携を進めていきたいとの提案を受け、関係課を通じて、市町村へ情報提供を行った結果、岩美町において「メルカリエコボックス」の配布希望があり、梱包資材200セット(ボックス1個、梱包材3個)の配布を令和5年11月から町内で開始。岩美町役場やイベントで配布を行っている。</p>
16	R5.4～	雇用・労働	スマートワーク(株)	デジタル関連の人材育成・仕事供給・産業振興に向けた連携	同社知見・ノウハウを活かして、デジタル関連の人材育成や仕事創出等で県と連携したい。	類似の取組を進める複数の民間事業者も加え、県内のリモートワーカーを育成し、求職者や非正規労働者等の所得向上を目的とした事業を、令和5年度予算により事業化。令和6年度においても事業を継続し、受講者の拡充、フォローアップ講座等の実施、県内企業のリモートワーク活用促進に向けた情報提供を充実させる。
17	R4.4～	産業振興	松風荘旅館	ペットツーリズムによる観光振興	ペット同伴観光客向けの情報整理等を通じた受入体制の整備に向けて県と連携したい。	令和4年度に鳥取県公民連携推進事業補助金を活用し、県内のペット受入環境の調査、課題把握及び先進地の活動状況等について学んだ。当該調査の結果等を踏まえ、令和5年9月に鳥取県ペットツーリズム協議会のHPを開設。ペットについてのマナーやルール、鳥取県内の動物病院や迷子になった時のお役立ち情報を掲載するとともに、県内各施設のペット受入状況が一目で分かるピクトグラムシールを作成し、店舗等への配布を開始した。
18	R5.6～	その他	オムロンソーシャルソリューションズ(株)	地方創生における社会実装	地方都市における持続可能な地域の成長の実現を目指し、自治体と連携したい。	県内市町関係団体、県等で構成される「令和5年度第1回鳥取県生活交通確保に係る地域協議会合同分科会」(R5.6.28)において、提案者より「meemo(ミーモ)の事例紹介を行った。
19	R5.8～	その他	旭食品(株)境港支店	災害時の物資支援、県産品販路開拓等に関する連携	福祉・環境・防災・まちづくりなど、自社としてできることを県と話しあひながら、一緒に課題解決に取り組みたい。	令和5年8月に「災害時における生活関連物資の調達に関する協定」を締結し、災害時における自社取扱商品(飲料水、缶詰、即席麺等)の提供・運搬をお願いすることで合意した。
20	R5.9～	その他	住友生命保険相互会社	健康増進を中心とした連携の取組	健康増進の取組を中心に県と連携したい。	「健康増進」や「結婚・子育て支援」等の分野で連携を進めていくこととし、令和5年9月に包括連携協定を締結した。
21	R5.8～	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング(株)	企業の知見を活かした地域の社会課題解決に向けた連携	清潔・美・健康など幅広い分野で各ステークホルダーとの連携を強めていきたい。	令和5年8月に農業者向け交流会「倉吉農業女子サロン」において女性農業者対象に紫外線、暑さ対策に関するセミナーを開催し18名の方に参加いただいた。また、中部地区シルバー人材センターにおいて、「60歳からの身だしなみメイクセミナー」を開催し、19名の方に参加いただいた。
22	R6.3～	その他	鳥取マラソン実行委員会	鳥取マラソン2024における連携	令和6年3月17日開催の「鳥取マラソン2024」の開催にあたり、県と包括連携協定を締結している大塚製薬(株)と連携したい。	県との包括連携協定に基づき、協力したい旨の回答があり、「鳥取マラソン2024」へ協賛いただき、ランナーへの給水ドリンクに大塚製薬の商品を使用するとともに、その一部を大塚製薬より無償提供いただくこととなった。また、ランナーの方へ景品を提供いただいた。
23	R6.2～	土地・施設利用	(株)エースパック	中部地域における県立施設へのネーミングライツ導入の検討	企業名の周知を図り、採用に向けた人材確保等に繋げていきたいため、工場が立地する県中部でネーミングライツ導入を検討したい。	県中部地域の県立施設の状況について導入可能な施設を検討した結果、倉吉未来中心及び鳥取二十世紀梨記念館を対象として、ネーミングライツパートナーの公募を実施。公募の結果、優先交渉権者に(株)エースパックを選定し、以下の内容で2月に契約を締結した。 令和6年4月1日より「エースパック未来中心」「エースパックなしっこ館」の愛称使用が開始された。 <契約内容> ・契約金額：年額1,200万円(両施設を合わせた金額、消費税を除く) ・契約期間：3年間(R6.4.1～R9.3.31)
24	R5.4～	土地・施設利用	-	県有未利用財産の有効活用	(元)岩倉教職員宿舎について、工事車両駐車場及び資材置き場として利用希望	以下の期間で財産の貸付を実施した 貸付期間：R5.4.3～R5.9.1
25	R5.10～		-		(元)北園宿舎について、社員駐車場として利用希望	以下の期間で財産の貸付を実施した。 貸付期間：R5.10.1～R5.12.31
26	R5.12～		-		(元)鳥取県自動車運転免許試験場について、道路工事に伴う掘削残土の仮置き場として利用希望	以下の期間で財産の貸付を実施した。 貸付期間：R5.12.8～R6.3.20